



札幌と長岡の冬の違い

日本は南北に長いので、同じ雪国でも地域によってその様子は異なります。今回は、私が住んだことがある札幌と長岡の冬の違いについて簡単に紹介したいと思います。

札幌では、冬の間は積もった雪が解けることがほとんどありません。そのために積もった雪を集めて雪山を作り、定期的にダンプカーで川沿いなどにある雪捨て場に雪を捨てにいきます。雪捨て場の雪は、遅い年には8月ごろまで残っていることもあります。それに対し、長岡では日平均気温が氷点下になる日はほとんどありません。従って基本的に雪をどこかに運んでいなくても、しばらく我慢すれば解けてなくなります。また、道路には消雪パイプというものが設置されており、雪が降り始めると水が噴出され、降ってくるそばからどんどん雪を解かしていきま



札幌雪捨て場
市内の雪山の雪は、定期的集められダンプカーで雪捨て場に運ばれてきます。写真提供：札幌市役所



長岡の冬風景
消雪パイプのおかげで道路には雪がありません。

す。札幌に比べると非常に楽なのですが、道が水浸しになるので冬は長靴なしでは外出できません。

また、雪が降った時の人々の対応も異なります。札幌では乾いた雪が降ってくるために、雪が降ってきてもほとんどの人は傘をさしません。服に積もっても雪をはらえば濡れないからです。一方、長岡では、傘をささないでいるとあっという間に服が濡れて風邪をひいてしまいます。これは降ってくる雪がすでに水分を含んでいるためです。このように同じ雪国でも生活はさまざまです。その地域にあった方法で人々は雪と上手に付き合っているのです。

この号が出るころにはきっと雪国にも遅い春がやって来ていることでしょう。

「冬来たりならば春遠からず、春来たりならば去年の雪今いずこ」

(雪氷防災研究部門 特別研究員

山口 悟)

編集・発行／ 独立行政法人 防災科学技術研究所

〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1 ☎029-851-1611(代)

企画課直通☎029-863-7789 Fax.029-851-1622

E-mail◆plansec@bosai.go.jp インターネット◆http://www.bosai.go.jp

発行日／2003.4.1